

避難所における評価と 災害時公衆衛生

災害時における健康危機管理とは

- 救急集団外傷への対応
- 被災者・避難者の健康管理
 - 災害事象に起因する負傷・罹病への対応
 - 継続する一般医療ニーズへの対応
 - 災害弱者の保護
 - 被災下での疾病要因への対応・予防
- 地域保健医療システムの機能維持と再建

いつまでも変わらない避難所の様相



阪神淡路大震災¹⁾ 1995



新潟県中越沖地震²⁾ 2007



東日本大震災 2011

1) 報道資料より
2) 国立感染症研究所資料より



東日本大震災での 避難所の実際はどうだったのか？

避難所の実際 1

1、トイレ衛生の問題

- 水が流せない
- 石鹸が配置されていない
- トイレ周りは汚れている
- 汚物はトイレ内ビニール袋に山積み

2、環境衛生、個人清潔の問題

- 要介護者の失禁時の着替えなし
- お風呂がない
- 締切のため換気ができず環境悪化
- 掃除がされていない

避難所の実際 2

3、障害者支援の問題

- 寝たきりの人は直接床で寝ている
- 要介護者の配置がばらばら
- 障害のある人は夜間も椅子で過ごす
- 酸素、吸引機がない

4、女性支援、子ども支援の問題

- 生理用品がない
- 着替えるスペースがない
- 授乳スペースがない
- 遊びスペースがない

避難所の実例 3

5、外部支援、避難所管理の問題

- 昼間は多数のDMATが医療救護活動
- 夜間は人手不足
- 医療救護チームとの情報共有の場がない
- 医療救護チーム、ボランティアは増えるがそれらをコーディネートできる人がいない
- どこチームが支援に入っているのか、支援に入っている医療救護チーム数が不明

などなど…

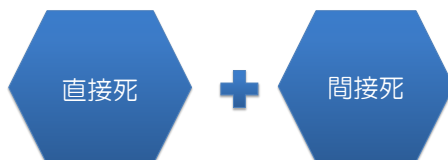
避難所の公衆衛生問題に取り組む意義

- ・トイレ衛生の問題
 - ▶ 汚いとトイレに行きたくない
 - トイレ回数を減らす為に水分摂取を控える
 - エコノミー症候群の発症
 - ▶ 感染拡大
- ・環境衛生、個人清潔の問題
 - 感染症の流行に繋がる、喘息や皮膚疾患の発症や悪化

避難所の公衆衛生問題に取り組む意義

- ・障害者、要介護者支援の問題
 - 病状の悪化、1カ所にケアブースを作ることにより人的資源を有効に使える
- ・女性、子ども支援の問題
 - ストレス過多から育児能力低下、精神疾患の発症や悪化

災害による死亡



- ・急性期
- ・現場
- ・外傷・溺水
- ・クラッシュ症候群
- ・慢性期
- ・避難所・病院・仮設住宅
- ・基礎疾患増悪や廃用症候群（生活不活発発病）
- ・このうち一部が関連死認定

演習

避難所の運営を一緒に考えてみましょう！

避難所運営ゲーム(HUG)

- ・避難者カードを配る人(進行係)1名
各グループで決めてください
- ・避難者の配置を考えて頂きます
- ・プロブレムリスト、案内・掲示、連絡事項もまとめて下さい

スフィア・プロジェクト

 スフィア・プロジェクト The Sphere Project 人道憲章と 人道対応に関する 最低基準 Hansen/Martin Charter and Minimum Standards in Humanitarian Response	目次 序文 iii 謝辞 iv スフィアとは? 3 人道憲章 17 権利保護の原則 23 コア基準 45 給水、衛生、衛生促進に関する最低基準 73 食糧の確保と栄養に関する最低基準 131 シェルター、居住地、ノン・フードアイテムに関する最低基準 227 保健活動に関する最低基準 271 付録 337 付録1. 人道憲章を支える主要文書 338 付録2. 災害救援における国際赤十字・赤新月運動および 非政府組織 (NGOs) のための行動規範 350 付録3. 略語・漢字語 358
---	--

スフィア・ハンドブック日本語版第3版は、The Sphere Projectの了解に基づき、外務省国際協力局民間援助連携室によるNGO研究会の事業として特定非営利活動法人 難民支援協会により翻訳された。

http://www.refugee.or.jp/sphere/The_Sphere_Project_Handbook_2011_J.pdf

スフィア・プロジェクトとは？

災害や紛争における人道危機支援に関する
最低基準が記載されたガイドブック

●NGOのグループと赤十字・赤新月社運動によって定められたもので、現在では国際的な基準として幅広く用いられている

●東日本大震災での支援は、この最低基準をほとんど満たさないものであった

スフィア・プロジェクトで 定めている最低基準

- **給水、衛生、衛生促進**に関する最低基準
ー トイレ、水、ゴミ、害虫対策、排水など
- **食糧の確保と栄養**に関する最低基準
- **シェルター、居住地、ノン・フードアイテム**に関する最低基準
ー 生活空間、衣料や寝具、家庭用品など
- **保健活動**に関する最低基準
ー 保健システム、感染症対策、子どもの保健、メンタルヘルスなど

避難所の評価項目について
一緒に考えてみましょう！

避難所の評価項目1

C: Command & Control

- 1、施設情報
所在地、連絡先、施設の広さ、アクセス方法
- 2、組織と支援
管理者、連絡体制、
外部支援の有無(医療看護班、ボランティア数など)

S: Safety

- 3、ライフライン状況
電気、ガス、水道の使用可否
- 4、避難所の安全面の確認
- 5、感染症の流行状況

避難所の評価項目2

C: Communication

- 6、通信
固定電話・携帯電話の使用可否、連絡体制

A: Assessment

- 7、人数
収容可能人数、避難者総数、死者数、負傷者数
- 8、衛生設備、衛生環境の状況
トイレの状況、風呂、冷暖房、調理設備の有無、
寝具の有無、清掃状態やゴミの状況
- 9、食糧・水の状況
食糧・飲料水備蓄の有無、配給の有無、食事回数

PDCAによる災害医療対応

- 短期、中長期目標の設定
- 計画の見直し



- ニーズの評価
- 資源、キャパシティの評価

- 目標を達成するための計画

- 支援の実施
- 活動の実施

